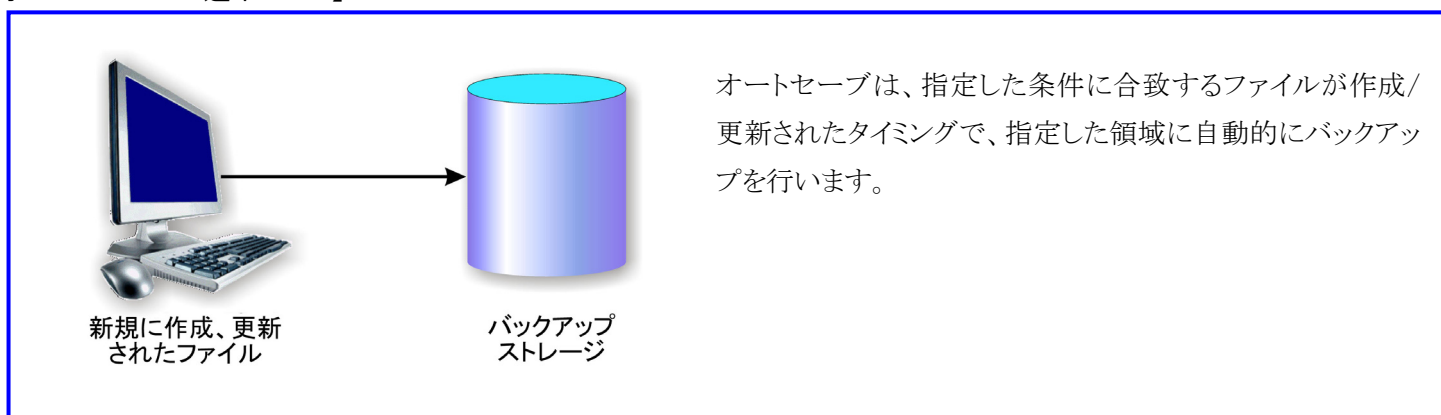


オートセーブ 2 活用ガイド - スパニングモードでCD/DVDにバックアップ -

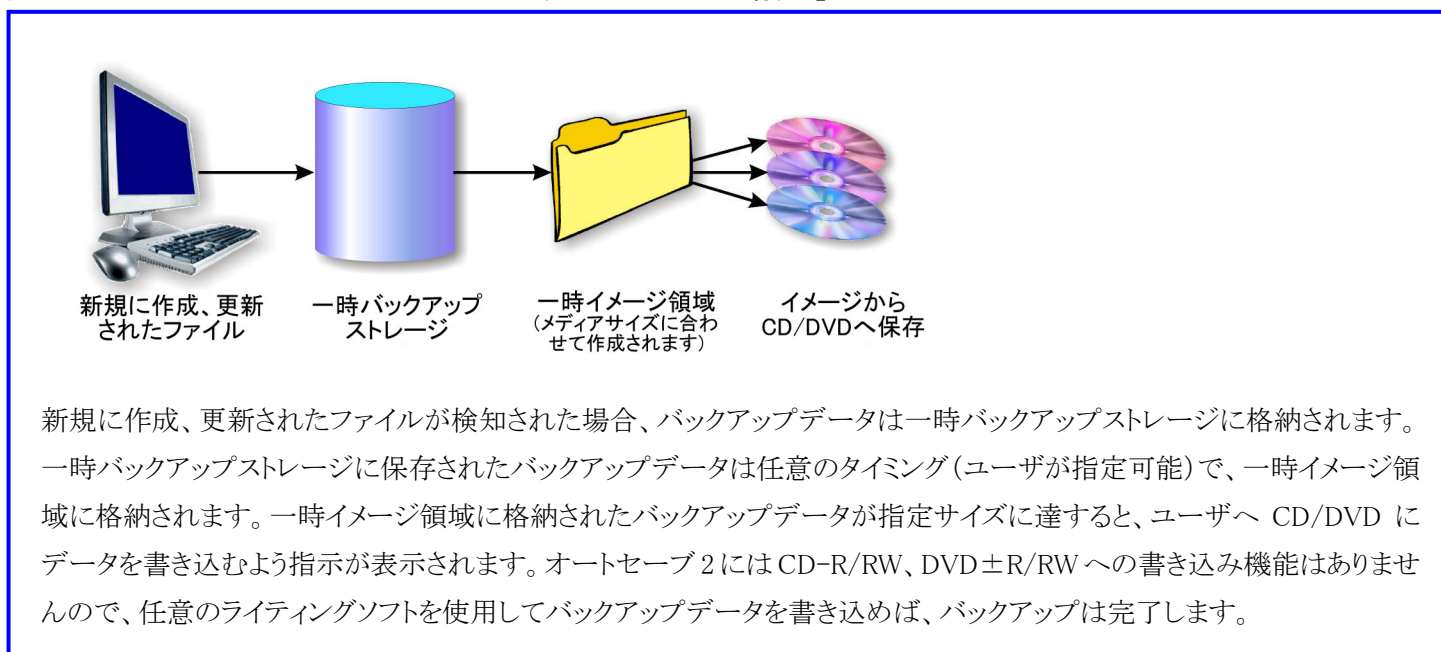
この資料では、オートセーブ 2 を使用して、バックアップデータを CD-R/RW、DVD±R/RW に保存する方法をご紹介します。オートセーブ 2 には、メディアサイズに合わせて、バックアップデータを作成できるスパニングモードが搭載されており、複数のメディアにまたがったバックアップデータを一元管理することが可能です。ただし、オートセーブ 2 には CD-R/RW、DVD±R/RW への書き込み機能はありませんので、バックアップデータは XP に標準搭載されているライティング機能、もしくは市販されているライティングソフトを使用して書き込む必要があります。

1. スパニングモードとは？

【オートセーブ 2 の通常モード】




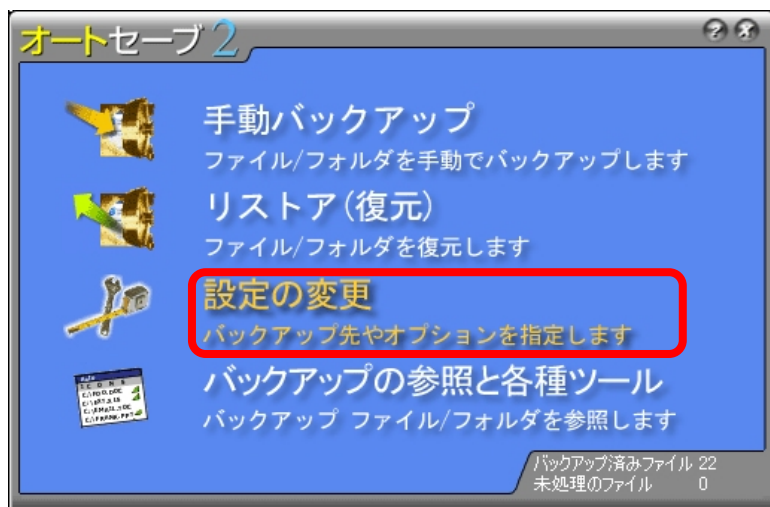
【オートセーブ 2 のスパニングモード(CD-R/RW、DVD±R/RW の場合)】



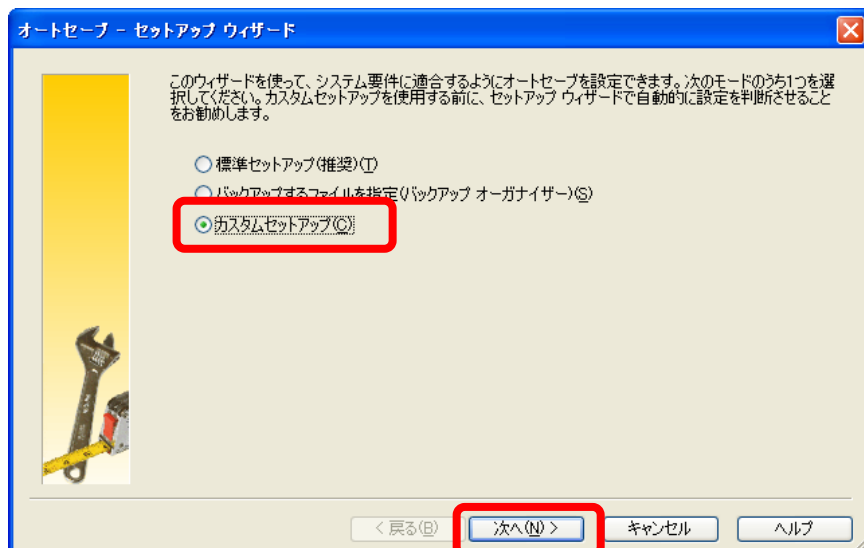
次ページ以降では、例として CD-R/RW をバックアップ先とした場合の設定方法をご紹介します。

2. 設定方法

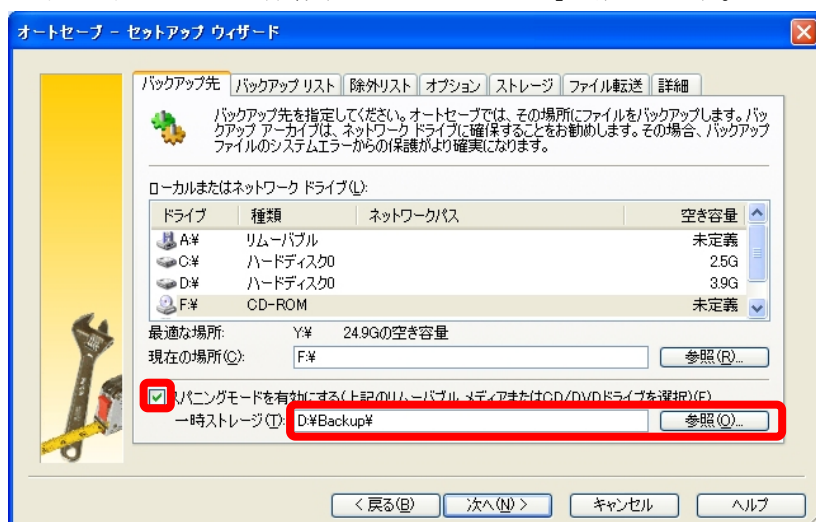
- (1) 既にセットアップが完了している場合にはオートセーブ 2 のアイコン  をダブルクリックし、表示されたメニューから、「設定の変更」をクリックします。これからインストールする場合には、(2)の画面がインストール後に表示されます。



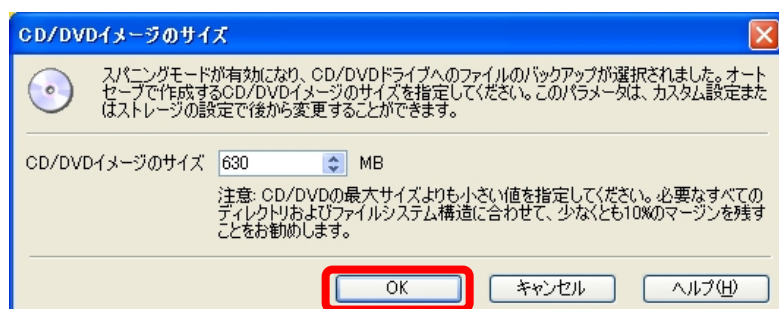
- (2) セットアップウィザードでは、カスタムセットアップを選択し、「次へ」をクリックします。



- (3) バックアップ先に CD ドライブを指定し、「スパニングモードを有効にする」のチェックボックスを「オン」にします。さらに、一時的にバックアップデータを保存する「一時ストレージ」を指定します。



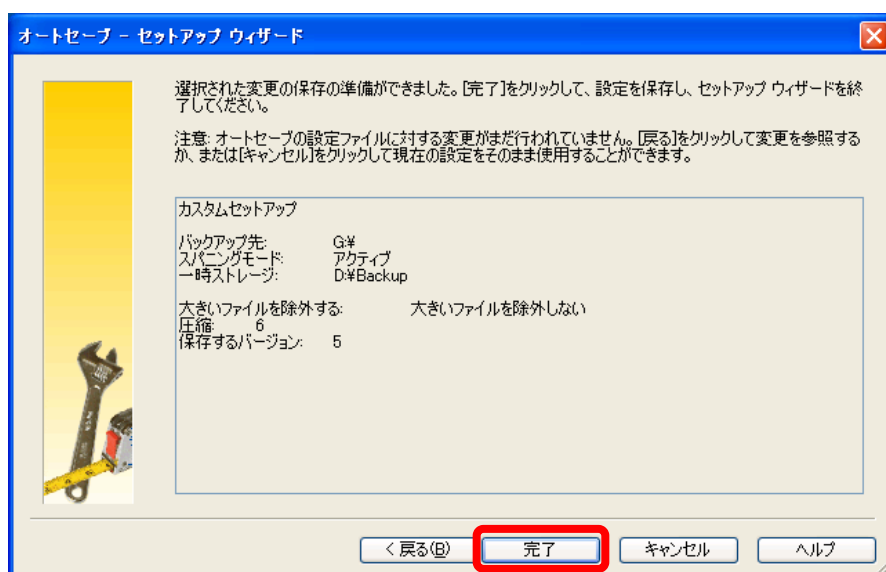
- (4) イメージサイズを指定します。ここで指定したサイズに合わせてオートセーブ 2 がバックアップデータを作成します。「OK」ボタンをクリックします。



- ※ イメージサイズは、メディアの最大サイズを指定すると、バックアップデータの作成までに時間がかかります。適度なタイミングで、イメージが作成されるように、サイズを調整してください(サイズはカスタムセットアップ画面で変更することができます)。
- ※ 最大サイズを指定する場合も、メディアの実際の容量より余裕をもって10%ほど小さい値を指定してください。


- (5) 必要であれば、バックアップ リスト、除外リストなどバックアップ設定を変更します。各画面の設定内容についてはユーザーマニュアルを参照してください。

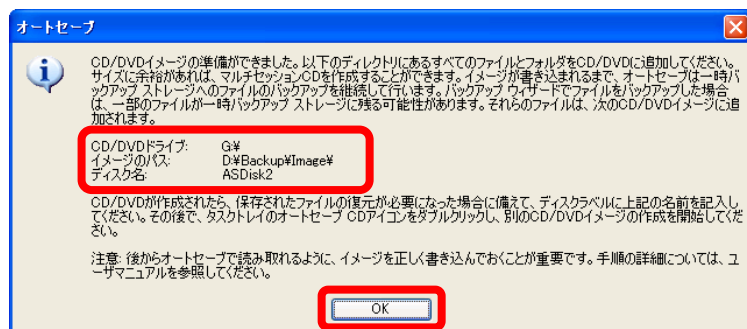
- (6) 「次へ」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックします。



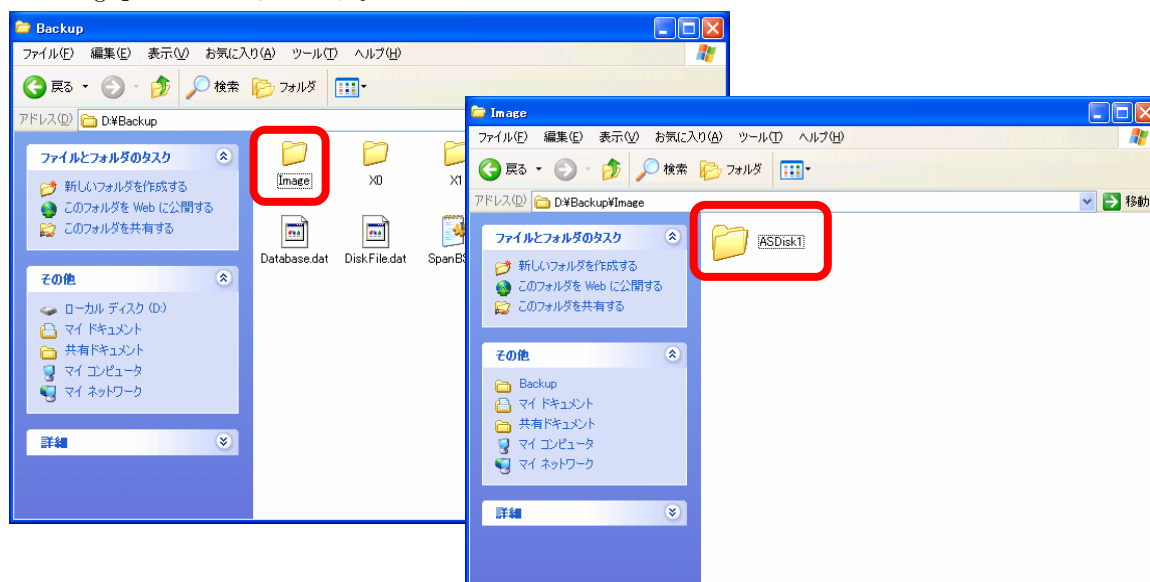
以上で設定は終了です。指定した一時バックアップストレージへのバックアップが開始されます。

3. バックアップデータの書き込みについて

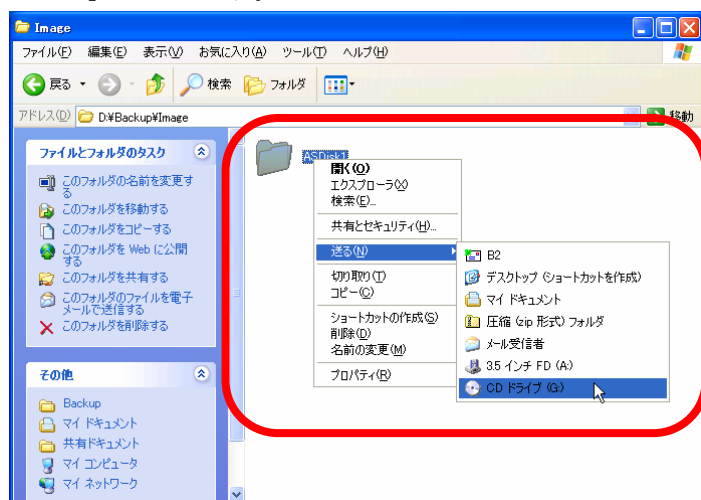
- (1) オートセーブ 2 による自動バックアップが行われ、バックアップデータが指定したサイズになると、タスクトレイ(画面右下)にアイコン  と以下のダイアログが表示されます。イメージのパス、ディスク名をメモし、「OK」ボタンをクリックします。



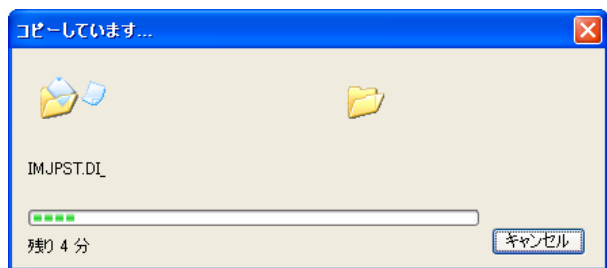
- (2) 一時バックアップストレージに指定したサイズに合わせて、書き込み用バックアップデータが作成されています。バックアップ先の「Image」フォルダを開きます。



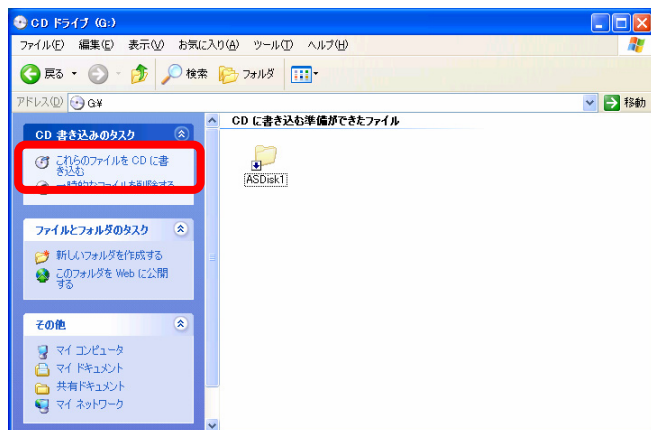
- (3) 「ASDisk1」をフォルダごと任意のライティングソフト、XP に標準搭載されている書き込み機能を使用して CD に書き込みます。ここでは XP に標準搭載されている書き込み機能を例としてご紹介します。「ASDisk1」フォルダを右クリックし、「送る」-「CD ドライブ」を選択します。



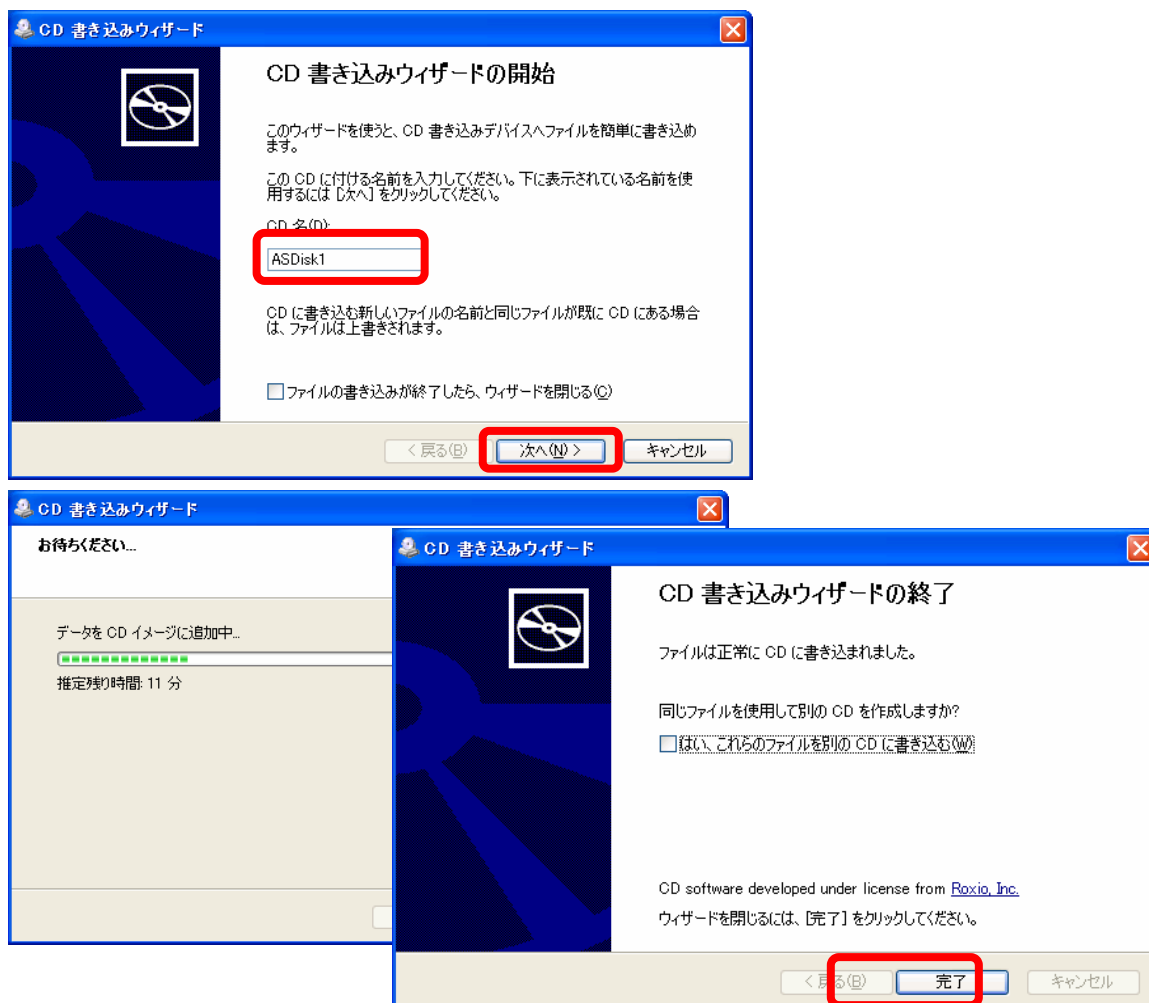
(4) データが転送されます。




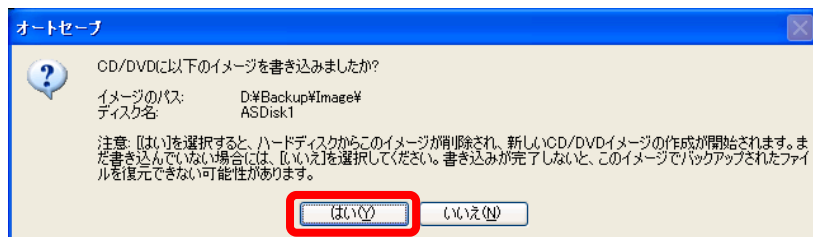
(5) 転送が完了したら、CDドライブを参照し、「これらのファイルを CD に書き込む」をクリックします。



(6) 書き込みウィザードに従って、バックアップデータを CD に書き込みます。CD 名には(1)のディスク名を入力し、「次へ」をクリックして、書き込みを実行します。書き込みが終了したら、「完了」ボタンをクリックします。



- (7) 書き込み後にタスクトレイのアイコン  をクリックします。CD にバックアップデータが書き込まれていることを確認し、「はい」をクリックします。



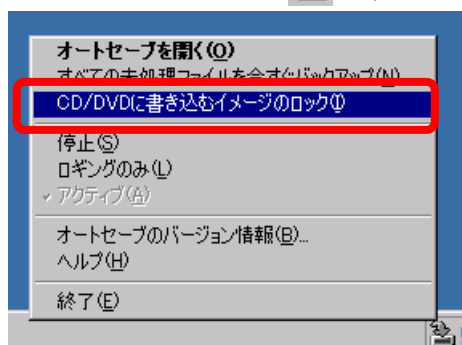
- (8) 一時バックアップストレージからバックアップファイルが削除されます。次のディスク用のバックアップデータの作成が開始されます。イメージが作成されたら(1)～(7)と同様の手順で書き込みを行ってください。

以上の操作で、バックアップデータを CD に保存することができます。

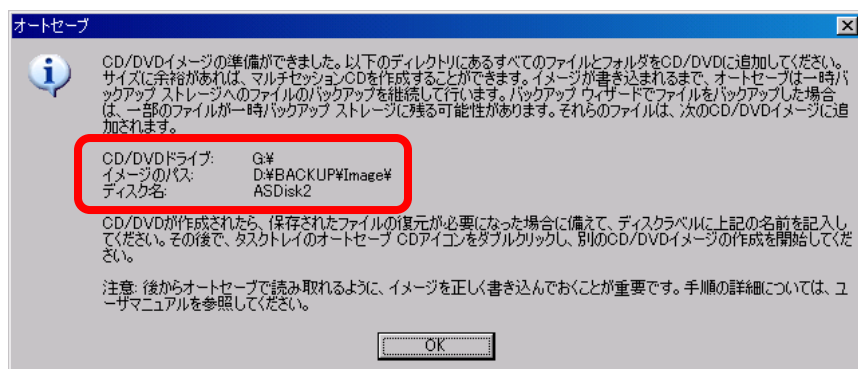
One Point 「指定したサイズに達していない状態でバックアップを行うには？」

設定時に指定したサイズになると、データを書き込むように指示が表示されますが、指示が表示される前にバックアップしたい場合には、以下の操作を行ってください。

- ① オートセーブ 2 のアイコン  を右クリックし、「CD/DVD に書き込むイメージのロック」を選択します。



- ② 以下の画面が表示されるので、イメージのパス、ディスク名をメモし、「OK」ボタンをクリックします。

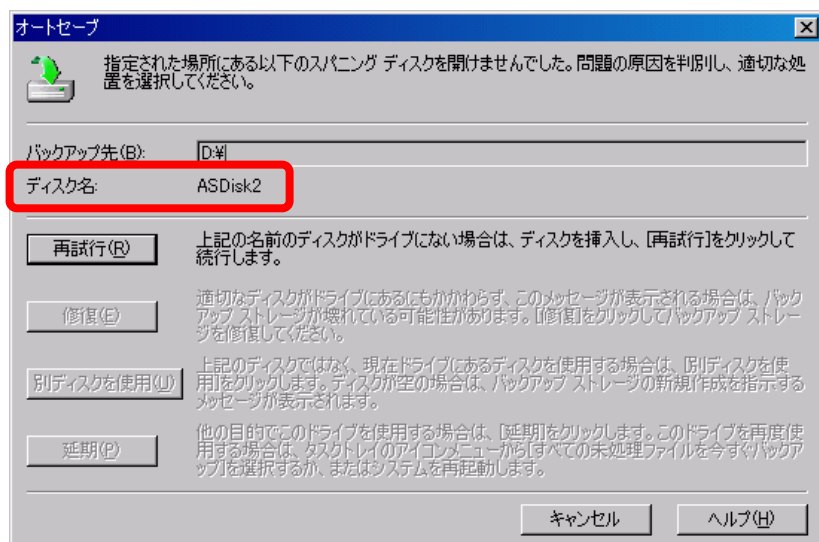


- ③ バックアップデータを書き込みます。

4. リカバリー(復元)方法について


手順は通常モードと同様になりますので、製品に同梱されている『クイックガイド』をご参考ください。

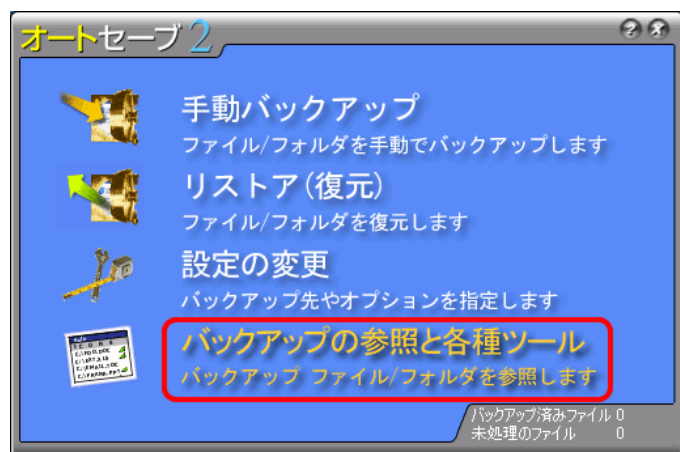
通常モードと異なり、リストア(復元)時に以下の画面が表示されることがあります。復元するデータが現在のドライブのメディアにない場合に表示されます。「ディスク名」を確認し、該当するメディアをドライブに挿入し、「再試行」ボタンをクリックしてください。



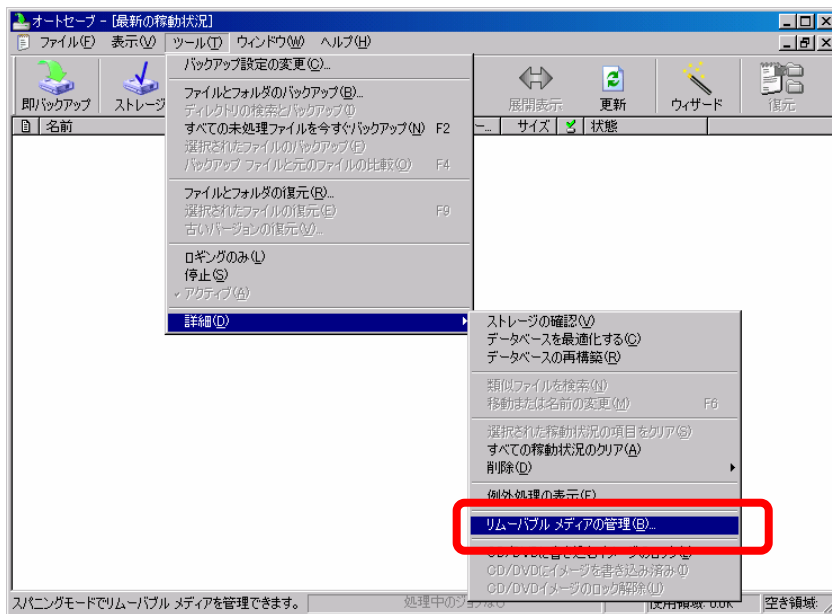
One Point 「オートセーブ 2 がインストールされていない環境でリストアする場合には？」

例えばオートセーブ 2 をインストールした PC の OS が起動しなくなってしまう、OS から再インストールする必要がある場合などは、以下の手順でバックアップデータが保存されたメディアを再登録する必要があります。

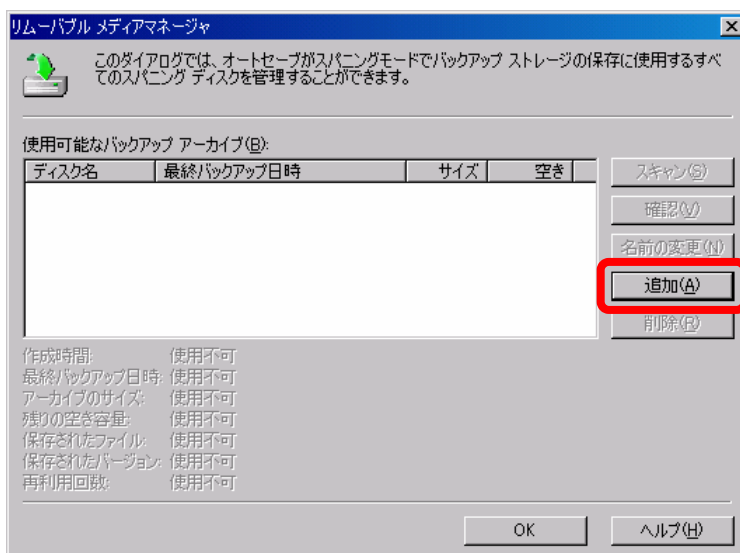
- ① リカバリーCD などを使用して、OS を再インストールします。
- ② オートセーブ 2 をインストールしてください。
- ③ 上記(2. 設定方法)と同じ設定を行います。
- ④ バックアップデータが書き込まれているディスクを登録します。画面右下のオートセーブ 2 のアイコン  をダブルクリックし、表示されたメニューから、「バックアップの参照と各種ツール」をクリックします。



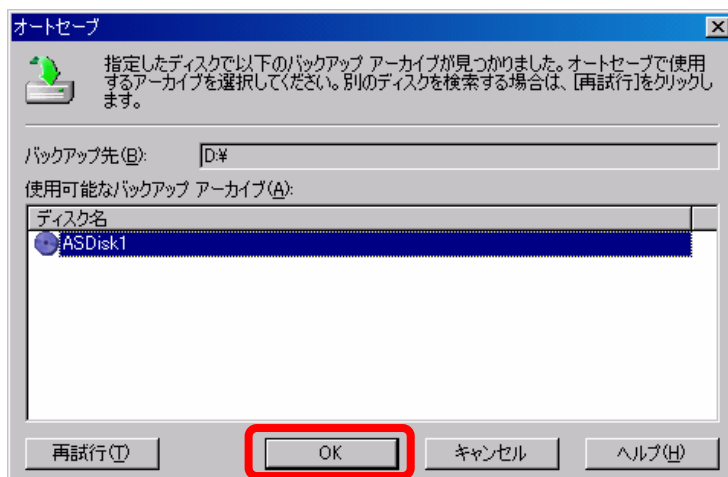
⑤ 「ツール」-「詳細」-「リムーバブル メディアの管理」を選択します。



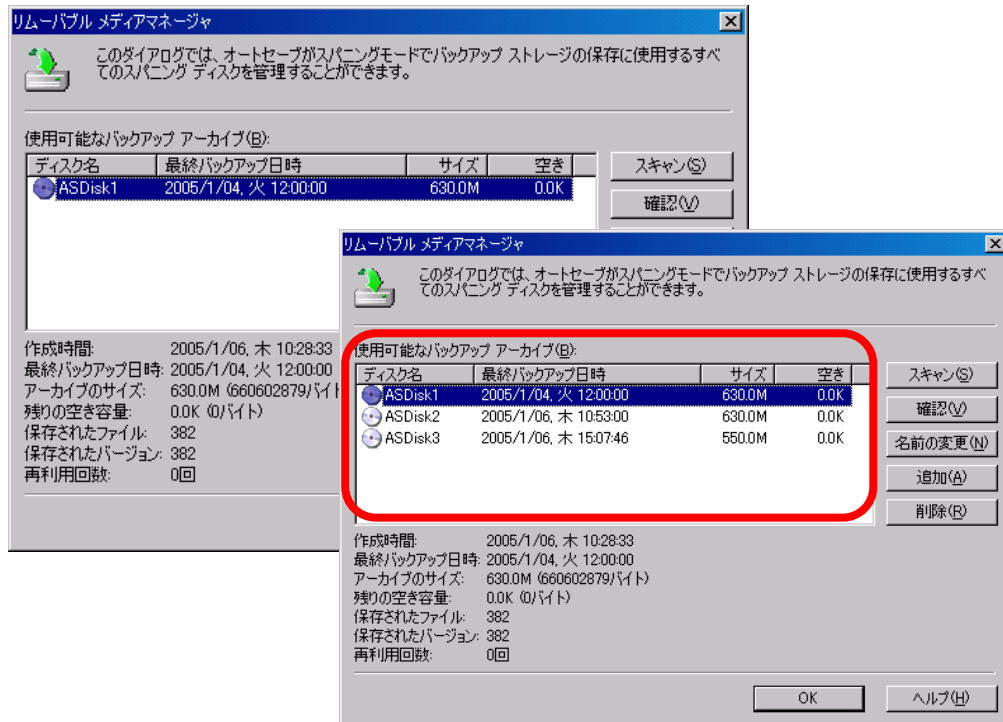
⑥ 「リムーバブル メディアマネージャ」が表示されます。バックアップデータが書き込まれている CD を挿入し、「追加」ボタンをクリックします。



⑦ CD がスキャンされ、以下の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



⑧ メディアが追加されます。同様に他のディスクも登録します。



以上の設定で、CD 内のバックアップデータからリストアできるようになります。